

No.

25

令和6年10月発行

# 新潟市南区 農業振興公社だより

編集・発行

公益社団法人 新潟市南区農業振興公社

〒950-1292 新潟市南区白根1235 TEL 372-5024 FAX 374-0780

HP:<http://niigata-agri.or.jp>

E-mail:[kousya-shirone@beach.ocn.ne.jp](mailto:kousya-shirone@beach.ocn.ne.jp)



## 令和6年度予算の概要

事業総額	67,580千円	4. 産地活性化総合対策事業	100千円
1. 総合振興事業	650千円	5. 資源循環事業	6,290千円
公社だよりの発行・ホームページの管理		堆肥散布業務委託	
2. 農用地利用対策事業	55,129千円	6. 果樹新規担い手等支援事業	1,198千円
農用地利用集積円滑化事業管理費		7. 園芸事業費補助金交付事業	1,100千円
農地賃借料		8. 一般管理費	1,800千円
3. 農業振興対策事業	1,213千円	9. 予備費	100千円
主要果樹生育調査圃設置・水稻防除対策			
販売促進活動・各種団体、協議会への活動			
助成			

# 主要事業のご紹介

## 01

CORE BUSINESS ONE

### 農用地利用対策事業

農用地を貸したい農家（出し手）から、その農地を借り受けて農業経営の規模拡大や効率化を図る担い手農家（受け手）への貸付けのお手伝いをします。また、適正な賃貸借料を設定します。農地の賃貸借については、法改正により令和2年度から南区公社を通しての新規契約はできません。（継続中の契約は期間満了まで）また、利用権設定の方法は下記のとおり二種類ありますので参考にして下さい。

利用権設定の種類	契約	賃貸借料金	賃貸借料金の支払時期		手数料	通知	備考
			耕作者	所有者			
農業委員会通し (農業経営基盤強化促進法)	所有者 ⇄ 耕作者	両者の合意 (金納・物納)	両者の合意により決定		0	契約期間終了前	令和7年度からは農地中間管理機構通しの契約に一本化されます。
農地中間管理機構通し	所有者 ⇄ 機構 ⇄ 耕作者	両者の合意	10月31日 11月30日	11月10日 12月10日	地代の0.5% (出し手・受け手とも)	地代精算前(毎年) 契約期間終了前	

- ①契約期間は基本10年間（両者の合意により決定）
- ②土地改良費の負担先は両者の合意により決定

〈今後の地域農業・農地について  
考えてみませんか〉



ご相談や説明会等のご要望等がありましたら、  
南区・公社・最寄りのJAにお問い合わせください。

## 02

CORE BUSINESS TWO

### 産地活性化総合対策事業

#### 農作業募集情報等提供事業

本事業は農家の高齢化や担い手不足に対応するため、農家からの農作業募集情報を当公社のホームページに掲載して農作業を手伝っていただける方を募集する事業です。

「労働力不足でお困りの方」や「農作業のお手伝いができる方」は当公社にご相談ください。

## 03

CORE BUSINESS THREE

### 資源循環事業

R5実績

白根地区(豚糞堆肥)	198.0t	散布面積	29.7ha
味方地区(牛糞堆肥)	1,232.0t	散布面積	123.2ha
合計	1,430.0t		152.9ha

## 豚ふん堆肥の臭気検査の実施

当社は耕畜連携の取組みとして、白根地区と味方地区で畜ふん堆肥を水田に散布しています。その事業の一環として8月28日に有限会社キープクリーンの豚ふん堆肥舎において、発酵促進剤（商品名:ラクトヒロックス）を用いた臭気検査を実施しました。検査の内容は、豚ふん堆肥に発酵促進剤を混合して3週間経過した堆肥と通常の堆肥との比較をしました。具体的には臭気測定器で「アンモニア濃度」と「臭気指数」を計測したところ、「アンモニア濃度」は通常の堆肥に比べて1/3以下の濃度でした。また、臭気指数（全ての臭いを測定した値）では、数値の違いは見られませんでした。今後も発酵の状況を調査するとともに「堆肥コンポ」で製造した臭気の少ない堆肥の混入を検討し、臭気削減をすすめます。また、堆肥を利用される稲作農家へは、堆肥散布が終了次第、すき込みをお願いしていきます。



# 04

CORE BUSINESS FOUR

## 果樹新規担い手等支援事業

南区の果樹生産は生産者の高齢化と後継者不足により、栽培面積の減少と廃園の発生が問題になっています。その対策として南区果樹担い手協議会を立ち上げ、課題の解決に向けて下記の取り組みをすすめています。

- ①新規就農者の受け入れ体制の構築
- ②地域の園地管理の体制構築
- ③就農希望者への家賃補助
- ④里親研修を含む各種研修事業
- ⑤地域園地管理検討会の開催及び果樹のPR

## 園芸事業費補助金交付事業

### 果樹防風ネット助成事業

南区内在住の果樹農家を対象に、樹園地の防風ネットを更新するための費用の一部を補助する。（新規の設置については、市単補助事業を活用いただく）

### 園芸高温対策被覆資材助成事業

南区内在住の園芸農家を対象に、ハウスの高温対策被覆資材を購入するための費用の一部を補助する。

補助の内容（上記2事業共通）

対象経費	果樹防風ネット・園芸高温対策被覆資材本体の購入費用
補助金額	① 公社会員は事業費の1/2以内（税抜き） ② 会員以外は事業費の1/4以内（税抜き）
上限補助額	① 会員は50,000円 ② 会員以外は25,000円
申請書類	① 申請書兼実績報告書 ② 補助金入金通帳の写し ③ 令和6年4月1日以降に購入された領収書・請求書 JAの購入伝票のいずれか
申請期限	令和7年3月7日まで
提出先	南区公社または最寄りのJAアグリセンター・フルーツフラワーしろね



## 新規就農者紹介

「消費者に  
喜ばれるものを  
つくりたい」

やまが ひろ  
山賀 大洋さん 21歳



本年3月に新潟県農業大学校を卒業し、有限会社盈科に就農された山賀さんは、在学中は果樹を専攻されました。4月に就農された盈科では全品目（水稻・大豆・日本梨・西洋梨）の作業をされています。特に水稻についてはコシヒカリ80aを担当圃場として任されています。盈科への就農のきっかけは大学2年生のときに授業で訪れ、その後も夏休みに

作業体験をされました。その際に、親切できめ細やかな指導を受けたことが、決め手となりました。就農後も社長をはじめ先輩から時には親身に、時には厳しくご指導をいただいています。今後も経験を積んで、美味しい農産物を消費者へ届けたいと張りきっています。

## 令和6年度 役員の紹介

役職名	氏名	所属等
理事長	小野 志乃武	新潟かがやき農協代表理事理事長
副理事長	長濱 達也	新潟市南区長
理事	帯瀬 和幸	新潟市農業委員会南区部会長
理事	塩原 信子	新潟市農業委員会農業委員
理事	小嶋 洋朗	新潟県農業共済組合理事
理事	丸山 久夫	白根郷土地改良区理事長
理事	岡村 登喜男	しろね野菜連絡協議会長

役職名	氏名	所属等
理事	杉柳 辰夫	農事組合法人高井興野農場代表理事
理事	樋口 和典	農事組合法人高井生産組合理事
理事	小林 勝	指導農業士会会長
理事	遠藤 茂	しろね果樹部会長
理事	霜鳥 隆	しろね稲作部会長
監事	渡辺 昌文	新潟かがやき農協代表常勤監事
監事	野口 聡	有限会社味方ふあーむ

## 職員の紹介

南区地域の活性化と地域農業の持続的発展のため、職員一同力を合わせて尽力いたしますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 【職員名簿】

職名	氏名	所属
事務局 局長	本間 芳則	JA新潟かがやき（公社常勤）
事務局 次長	山田 将希	新潟市南区産業振興課（公社兼務）
事務局 員	袖山 潔志	新潟市南区産業振興課（公社常勤）
事務局 員	坂井 真紀	JA新潟かがやき（公社常勤）

## 表紙の 説明

南区果樹担い手協議会の取組みとして6月8日に新潟県農業大学校で開催された「農業就職マッチングフェア」に参加しました。就農希望の学生（県農業大学校、ABio農業・バイオ専門学校等）約100名と求人希望の農業法人等35団体の中で当ブースに7名の学生が相談に来てくれました。担当者

は南区果樹担い手協議会の取組み（農業体験・里親研修・助成制度等）を説明し、県内外出身の学生は卒業後、親元就農・農業法人等への就職を希望されていました。

相談に訪れた学生の中には、南区の果樹農家で実習をしている学生もいました。